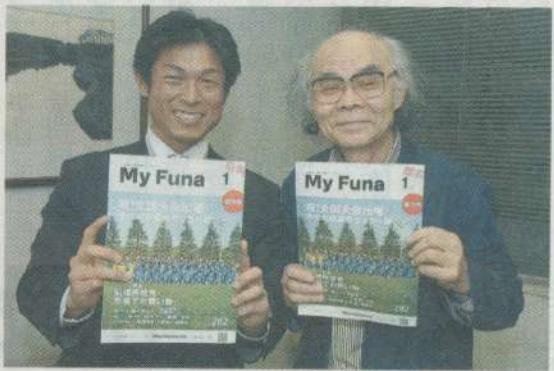


千葉

船橋タウン誌 新装復刊

市民の掲示板に

2007年10月に休刊した船橋市のタウン誌「myふなばし」が、フリーペーパー「My Funa」として装い新たに復刊した。編集長の山崎健太朗さん(32)は「船橋を再発見してもらい、街を元気にしたい」と意気込んでいる。



「My Funa」を手に街を元気づけたいと意気込む山崎さん(左)と旧「myふなばし」編集長の中沢さん

前身の「myふなばし」は元産経新聞社員の中沢卓実さん(74)(松戸市)が退社後、1984年に会社を設立し執筆してきた。「健康、福祉問題など興味をひく記事が多い」と評判だったが、中沢さんが体調を崩して休刊となつた。

読者から復刊を望む声が寄せられるなか、無料の人誌などを手がけた経験がある山崎さんが引き受けることを決意。自ら500万円を出資した上、会社経営者などから出資を募り、新会社「myふなばし」を設立した。中沢さんは「自分の子どもが生まれたような気分。皆さんに育てて頂きたい」と話している。

一方で、フリーペーパーを支える広告は、景気悪化のあおりを受け苦戦。「1、2号見てから検討する」と

て置いてもらっている。特に都心の会社を定年退職して地元で過ごす時間が増えた人などに読んでもらいたいという。

いう企業が多いといふ。山崎さんは「最初は我慢。いずれ市民の掲示板のような雑誌にしたい」と目標を語る。

サークルなどイベント情報の掲載は無料で受け付けている。問い合わせは、myふなばし(047・420・3140)へ。

My FunaはA4判、カラーの全36ページ。12月20日の復刊第1号では、船橋が誇る三番瀬のノリや、東京ドーム2・5個分の広さが

ある中央卸売市場を特集した。発行部数は2万部。市の役所や公民館、大型商業施設には持ち帰り用、理髪店や病院などには閲覧用とし